

地域教育・行政部会（案）

1. 目 標

「生きる力」を育むため、地域社会と連携し、体験学習等を行なうとともに、地域教育資源の開発、活用。地域ぐるみで児童、生徒のキャリアを育てる活動を推進する。

2. 基本方針

経験や体験活動を通して、人や社会と関わり人間関係形成能力を育成する

- （１）「生きる力」を育むために、キャリア教育の視点を踏まえた体験活動を行う。
- （２）文化継承活動、子ども会活動、地域体験活動、スポーツ少年団活動への積極的参加を推進する。
- （３）地域全体で教育環境の改善に取り組むために、地域教育資源の開発を行い活用する。

3. 令和6年度の実施事項

（１）各種団体との情報交換や連携を図る

- ①職場見学、職場体験への協力支援（伊江村型就業意識向上支援事業との連携）
- ②子ども会活動や区長会等との連携（文化継承活動・地域体験活動）
- ③地域ボランティアとの連携（地域教育資源の活用）

（２）地域との連携を通し、自己肯定感を高める（家庭教育部会との連携）

- ①地域行事への積極的参加・支援
- ②スポーツ少年団・部活動への積極的な関わり

4. 令和6年度活動報告

月	令和6年度活動報告	活動実施場所(方法)
4月	伊江中学校生徒会結成式	伊江中学校
5月	第1回 村学推企画委員会 ゴミゼロクリーン作戦	5月7日 改善センターホール 村一円
6月	子ども会育成会協議会 運動会・青年エイサー指導	6月20日 改善センターホール 伊江中学校体育館・運動場(6/24～)
7月	夏休み子どもエイサー教室 子ども会地域体験学習 子ども会リーダー研修	7月26日、29日、8月13日、21日 のべ83名参加 7月29日 西江前区 7月31日 ジーミ収穫体験
8月	子ども会地域体験学習 子ども会リーダー研修 各区対抗水泳記録会 子ども会リーダー研修 (イエ！クリエイティブキャンプ(動画コース))	8月3日西江上区 8月5日東江前区 8月5日阿良区 8月9日 読谷村子ども会交流 8月23日 総合体育館プール 24名参加 8月23日 YYYイェリゾート
9月	運動会・青年エイサー指導 伊江村陸上競技大会 子ども会地域体験学習	伊江小・西小学校体育館・運動場 9月17日伊江小学校 9月29日真謝区

10月	魚料理教室 子ども会地域体験学習 村踊指導 子ども会リーダー研修 地域人材を活用した模擬面接 中学1年生村内職場体験 両小学校6年生 企業人講話・ジョブシャドウイング	10月7日 中学3年生 10月8日西崎区 10月11日東江上区 両小5年生(学習発表会にて披露) 10月15日 7月に収穫したジーマミを使ったオリジナル商品の考案 10月16日 中学3年生 10月30日、31日 村内14業者受入れ 10月31日、11月1日 村内出身者5名による企業人講話、本島内企業7社受入れ
11月	伊江村駅伝大会 子ども会地域体験学習 第2回 村学推企画委員会 子ども会リーダー研修	11月3日 11月5日西江前区 11月19日 改善センターホール 11月23日ジーマミスコーン、塩ピー調理 (伊江じま家族加工所、改善センター)
12月	12月1日チューパンジャまつりにて子ども会ステージ、紙面掲示、リーダー研修 子ども会地域体験学習	村子ども会ステージ・自由演技(村踊、エイサー、ダンス) 子ども会活動の手作り紙面掲示 ジーマミスコーン、塩ピー販売(完売) 12月22日川平区
1月		
2月	ゆり球根植え付け体験 肉の日	2月6日 両小3年生 2月10日 中学3年生(伊江村出身の方が伊江島の和牛を使用したビーフカレーを振る舞う)
3月	地域人材を活用した模擬面接 子ども会リーダー研修 各区子ども会総会	3月12日 中学2年生 お別れ研修 各区役員引継等



地域人材を活用した模擬面接



子ども会リーダー研修「ジーマミ収穫体験」



イエ！クリエイティブキャンプ2024



夏休みエイサー教室

5. 成果と課題

【成果】

(1) 各種団体との情報交換や連携を図る

- ・伊江村型就業意識向上支援事業と連携し、6年生から中学3年生まで学年ごとにカリキュラムを学び「力強く生きる力・自律的キャリア感覚を持って島建ちできる子ども達」の育成を図ることができた。
- ・伊江村型就業意識向上支援事業の中で両小学校6年生は本島内での「ジョブシャドウイング」村出身者による「企業人講話」、中学1年生は「村内職場体験」、中学2・3年生は、初めての取り組みとなる「地域の人材を活用した模擬面接」を実施することで地域との交流を図ることができた。
- ・両小5年生へ「伊江島の村踊」を地域ボランティアが指導し、学習発表会で披露することで、民俗芸能の保存・継承が図られるとともに郷土芸能への関心、愛着心を育むことができた。
- ・各区において子ども会育成会が連携し、子ども会活動を推進することができた。様々な活動を通して心と身体を育み「郷土愛の醸成」「生きる力」を養うことができた。また、昨年同様「チューパンジャまつり」にて各区子ども会の舞台発表、活動内容を紙面にまとめ掲示した。活動内容を地域と共有することで交流が図れた。
- ・地域体験学習は、6字の子ども会が実施することができた。各区様々な内容で有意義な体験学習ができた。
- ・各区子ども会リーダーに対し研修を実施し、リーダーシップを育んだことで、自区においての活動等で中心的になるリーダーを育成することができた。
- ・各活動において地域ボランティアと連携し体験学習を行ない、地域、世代間の交流を図ることができた。
- ・各区において、子ども会リーダー、育成会役員が中心となり各活動を推進できた。次年度もリーダー、役員が中心となり、会員が協力し各活動を推進していく。
- ・伊江中学校において、生徒の泳力向上のため水泳の授業を実施することができた。

【課題】

- ・平和学習の語り手など後継者育成、地域人材の発掘を行う。

(2) 地域との連携を通し、自己肯定感を高める（家庭教育部会との連携）

- ・ゴミゼロクリーン作戦や村陸上大会、駅伝大会など地域行事に積極的に参加し、世代間の交流を図り地域活動の活性化を図ることができた。
- ・スポーツ少年団、部活動を通して自己肯定感を高めることができた。

6. 方向性

- ・今年度は、地域人材を活用したキャリア教育や子ども会活動等、地域と連携し各行事を展開することができた。次年度も引き続き、子どもたちが主体的に考え、大人がサポートする体制を整え、互いに学べる体験を企画・実施し、地域ぐるみで「生きる力」を育み「15の島建ち」教育に向けて取り組む。